

平成 28 年度研究プロジェクト研究活動報告

研究種別	■ 自主研究 8	公益目的事業 17
主査名	森 知也 ・ 京都大学経済研究所 教授	
研究テーマ	地域間交通網と都市・地域集積に関する研究	
研究の目的： 道路・鉄道・港湾・空港等の交通網の構造は、各地点の相対的な交通アクセスを規定し、産業・人口立地パターンに影響を及ぼす。本研究では、このような因果関係の分析を目的した理論モデルを構築し、輸送インフラストラクチャ整備と経済立地、とりわけ、個々の産業・人口の集積パターンへの影響について、交通・都市・空間経済学、都市・土木計画学、経済地理学等の広く学際的な視点から議論する。 具体的な研究課題は以下の通りである： (1) 輸送インフラストラクチャ政策と経済立地に関する理論・実証分析と政策評価手法の構築 (2) 交通ネットワークの構造とインフラストラクチャ政策 (3) 国際的な輸送インフラストラクチャ投資と料金政策に関する分析 研究の経過（4月～9月）： 今年度上期には、下記のように3回の研究会と1回の特別講義を実施し、交通インフラストラクチャと地域経済に関する研究が紹介され、メンバーとの間で活発な意見交換が行われた。 6月10日 内藤徹(同志社大学) Aging and urban agglomeration under a multi-regional overlapping generations model 森知也(京都大学) 都市の規模と産業構造：恒常的秩序と攪乱の共存、及びその要因 7月18日 大澤実（東北大学）Monocentric and polycentric patterns in spatial models of agglomeration Benny Mantin (University of Warterloo) Measuring competition Intensity and product differentiation: Evidence from the airline Industry 8月4、5日 Benny Martin (University of Waterloo) Special lecture on air transport management 9月16日 Jens Wrona (Heinrich-Heine University) Monocentric and polycentric patterns in spatial models of agglomeration 下期へ向けて（課題等）： 10月以降も、年度内に4回の研究会を開催する予定である。 研究メンバー（敬称略）： 森知也（主査・京都大学）文世一（京都大学）松島格也（京都大学）大西正光（京都大学）金広文（京都大学）松島法明（大阪大学）佐藤泰裕（東京大学）山本和博（大阪大学）織田澤利守（神戸大学）小池淳司（神戸大学）松尾美和（神戸大学）山鹿久木（関西学院大学）高山雄貴（金沢大学）寺地祐介（帝塚山大学）森本裕（甲南大学）		